

Corporate Profile

NTTアーバンソリューションズ株式会社 ご案内

トップメッセージ

あなたと、まちと、未来をつなぐ

NTTアーバンソリューションズは、地域社会が抱えるさまざまな課題と向き合い、NTTグループがもつICT、不動産、エネルギー、環境技術などのリソースを最大限に活用することにより、地域の皆さまの個性豊かで活力ある街づくりを支える企業として事業を推進しております。

私たちは、当社グループスローガンである「あなたと、まちと、未来をつなぐ。」を掲げ、地域の課題を解決に導くコンサルティング力、国内外でさまざまな実績を持つ不動産開発力、ファシリティに関するあらゆる分野に精通する設計・エンジニアリング力、豊富なノウハウを生かし資産価値を高めるマネジメント力などを集結し、末永く地域社会の成長、発展に関わり続けてまいります。

NTTグループは、人々の豊かな暮らしと地球の未来に貢献するため、お客さまを発想の原点とし、常に自己革新を続け、世の中にダイナミックな変革をもたらす企業グループをめざします。当社はその一翼を担い、持続可能で魅力的な社会の実現に向けた「街づくり」に取り組みます。

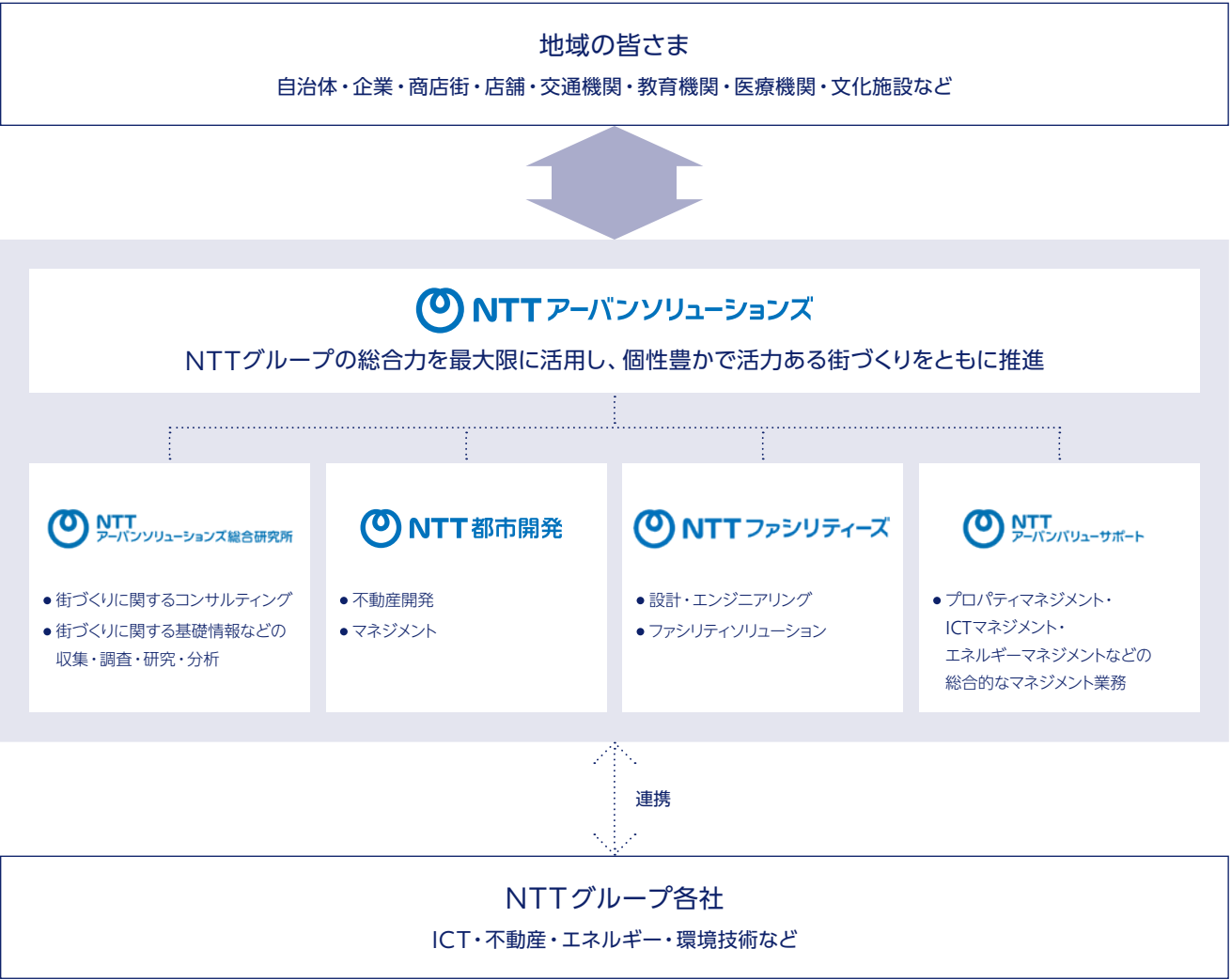
急速に進むAI普及や環境意識の高まり、サステナブル社会への転換など、社会が大きく変わろうとしている今、NTTグループが長年にわたって育んできた地域とのつながりを大切に、誰もが安心・安全に過ごせる社会の実現に向けてこれからも挑戦してまいります。

NTTアーバンソリューションズ株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

池田 康



NTTアーバンソリューションズグループの街づくり推進体制



NTTグループの主要事業会社



NTTアーバンソリューションズグループ“街づくり”の提供価値

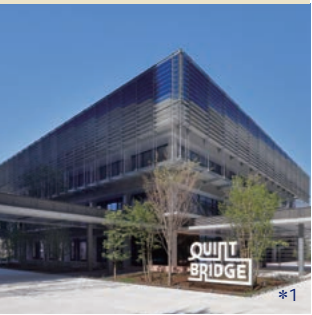
地域ごとの社会課題に向き合い、個性豊かで活力ある街づくりに貢献するため、さまざまな価値を提供していきます。

〈私たちが提供する価値〉

賑わいと憩いの場の創造



働きやすいオフィス環境



活き活きとした暮らしを支える住まい



お客さまの資産価値向上



環境への配慮



BCP対応(防災・減災)



デジタル社会を支える基盤



“街づくり”にかかわる社会課題の解決に貢献

少子高齢化、人口減少、中心市街地の衰退、東京圏一極集中、地域経済の縮小、インフラ・施設の老朽化 など

賑わいと憩いの場の創造

パティーナ大阪



数々の世界的な賞の受賞歴を誇るカペラホテルグループの日本初進出ホテル。「トランスフォーマティブ・ラグジュアリー」をコンセプトに、上質な非日常体験を提供します。

ホテル開発・経営	都市計画コンサル
設計・監理	
所在地	大阪府大阪市
開業	2025年5月

NTT西日本本社跡地に立地する本ホテルは、木々や水の流れを感じられるガーデン付きレストランや、大阪城・難波宮跡公園などの大阪中心部を望む高層階のレストラン・バー & ラウンジを備え、都市にしながら季節の移ろいを楽しむ滞在空間を形成しています。バー & ラウンジでは、国内外のDJによるライブパフォーマンスを定期開催し、ギャラリースペースなどを活用した地域に開かれたイベントを通じ、多様な人々が自然と集い、交流が生まれる場を創出しています。

また、隣接する難波宮跡公園と連携し、既存樹木や在来樹種を活かした緑地と遊歩道を一体的に整備することにより、街区全体の回遊性を向上させ、ホテルと公園運営者が協働した地域イベントを継続的に実施し、地域とのつながりを深化させています。

難波宮跡公園 なノにわ



大阪市初のPark-PFI事業として、歴史公園と商業施設を整備。大阪城周辺に訪れる方々や地域の皆さまが心地よく過ごすことのできる場をめざしました。

公園整備・管理運営	商業施設開発・管理運営
所在地	大阪府大阪市
開業	2025年3月

国指定史跡「難波宮跡附法円坂遺跡」の歴史を守り、未来へと継承するだけでなく、隣接するパティーナ大阪と連携しながらこの地の魅力を高め、賑わいと憩いの場の創造・持続的な発展に寄与します。

歴史の保存においては、最新の発掘調査に基づき、回廊や塀、正殿などの遺構を表示しながら、園路や芝生広場を重ね、ARを用いて古代宮殿の空間構成とスケール感を体験できる場とし、商業機能である「なノにわ」を整備しました。

滞在価値を高めつつ、来園者が自然と歴史文化に触れられる仕組みを構築しています。また、「みんなのにわ なにわのみや」をコンセプトに、市民の方々の居場所「みんなのにわ」となるよう、「なにわのみや1400プロジェクト」等の難波宮跡でのさまざまな市民活動を育み・サポートする取り組みも行っています。

HIBIYA CROSSPARK NTT日比谷タワー



国内最大級となる延床面積約36万m²の大規模複合施設。国家戦略特区として認定される街区において、地区間で連携して一体的な街づくりを推進します。

オフィス開発 商業施設開発
ホテル開発 設計・監理

所在地 東京都千代田区
竣工 2031年10月(予定)

日比谷公園に隣接した北・中・南の3地区からなる「HIBIYA CROSSPARK」(内幸町一丁目街区)の「中地区」において、オフィス、産業支援施設、ホール、商業、宴会場、ホテルなどの多様な用途から構成される大規模複合施設です。日比谷公園とつながる道路上空公園の整備などにより、駅・まち・公園を一体的につなぐ歩行者ネットワークを形成し、回遊性の向上を図っています。

NTT日比谷タワー低層部には、道路上空公園と直結する屋内貫通通路や、南地区とつながる基壇部上広場を整備し、ウォークアブルで賑わいある空間を創出します。また、当時の日本電信電話公社(現NTT)が本社を構えていたこの場所で、次世代情報通信基盤「IOWN[®]」を実装し、“「光の街」づくり powered by IOWN[®]”を推進。新たな価値を生み出し、発信し続ける場の提供をめざします。

NTT日比谷タワーにおける「光の街」づくりの実現に向けて



NTT日比谷タワーでは、IOWN[®]などの先進技術やNTTグループ内外の企業などとの共創を通じて、「光の街」の実現に向けた検討を進めています。

本検討では、来街者やワーカーの体験を起点に、「賑わい・新体験」や「新ワークスタイル」などの5つのUXを軸とした価値設計を行っています。例えば、遠隔地とのリアルタイムなコラボレーションによるイノベティブでクリエイティブな企業活動の支援や、大規模空間演出による新たなエンターテインメント体験の創出、さらに建物設備の最適制御により省エネと快適性を両立する「Just Enough Energy」の実現などについて検討しています。

こうした検討を通じて、「光の街」の実現と日比谷ならではの魅力を高める、新たな価値の創出をめざしていきます。

※「IOWN[®]」は、NTT株式会社の商標又は登録商標

NTTアーバンソリューションズグループが取り組む「街づくり×デジタル」の特設サイト「わが まち みらい」はこちら。

想像を超えた未来が、すぐそこに
わが まち みらい



AIを活用したビル運営管理高度化・効率化の実証



NTT研究所が開発した「AI コンステレーション[®]」を活用し、街のデータと生成AIを用いたビル運営管理業務の高度化・効率化を図る取り組みです。

※「AI コンステレーション[®]」はNTT株式会社の登録商標

ビル運営管理業務の高度化・効率化

本実証では、街の運営を通して得た人流や天候、施設利用状況などのデータを活用して複数の専門家AIを構築し、それぞれのAIがその専門知見から案を生成し、相互に評価・補完しながら結論を導く仕組みを構築しました。イベント企画業務では、多角的な視点を取り入れた案を自動生成し企画品質の向上と業務時間削減を実現しました。

また、サイネージでは時間帯や人流に応じた最適コンテンツを自動選定し表示を行うことで、注視度の向上や来訪者の回遊促進といった行動変容を確認しました。

これらの仕組みを活かし、生成AIを用いてさらなる街のデータを実業務に活用していくことで、ビル運営管理に留まらず、街づくり全体の価値向上につなげていきます。

HAROW



HAROW 広島通

旧NTT西日本宮崎支店敷地の一部を活用した再開発。商業・交流機能を備え、官民連携のもと中心市街地の回遊性向上と日常的な賑わい創出に寄与しています。

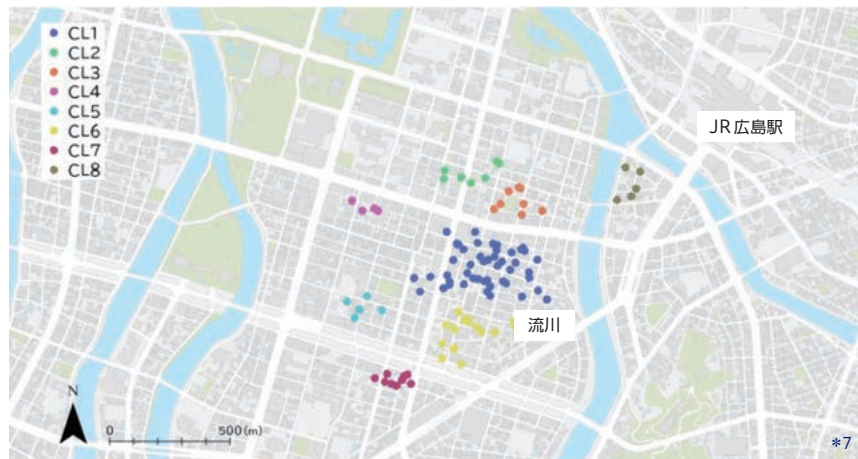
オフィス開発・管理 商業施設開発・管理

所在地 宮崎県 宮崎市
竣工 HAROW 高千穂通 2025年1月
HAROW 広島通 2024年11月

宮崎市およびNTT西日本宮崎支店と連携協定を締結して開発された、宮崎市中心市街地の「高千穂通り」と「広島通り」に面する2棟で構成される施設です。

「HAROW 広島通」は、小さな店舗が連なる通りのリズムに寄り添い、1つのユニット面積が約4坪の建築用コンテナを34台用いて形成しました。店舗面積が小規模であることで1～2名のスタッフでも営業可能となり、個人事業主の方の新規出店や既存店舗とは異なる新業態への挑戦を後押しすることにつながっています。地元店舗を中心とした個性豊かな17店舗が出店し、通りに賑わいをもたらしています。また、コンテナとコンテナの間に生まれた余白はテラス席やイベント広場、低速電動バス・グリーンスローモビリティ「ぐるっぴー」の停留所などとして活用され、街の憩いの空間となっています。

ソーシャルデータを活用した街の評価



広島大学との共同研究において、広島都心部の文化・魅力を図る取り組みを実施。食を軸とした都市の魅力向上に向けた実践的な示唆を得ることをめざしました。

※ 広島大学都市・建築計画学研究室とNTTアーバンソリューションズ総合研究所との共同研究「広島都心部の文化・魅力をはかる」(2023年～)による成果図

街づくり情報の収集・調査・研究・分析・発信

検討地 北海道札幌市、宮城県仙台市、広島県広島市、福岡県福岡市
取り組み 2024年

都市再生特別措置法改正(2020年)を背景に、「居心地が良く歩きたくなる」人間中心の街なかづくりが重視され、持続的な賑わい創出に向けて選ばれる都市の実現が求められています。本取り組みにおいては「世界に選ばれる人間中心の魅力的な街づくり」に資する手法の確立を目的として、都市における体験価値の重要な要素である「食文化」に着目。「選ばれる街」の要素とされる「唯一性」「多様性」「回遊性」を人間の体感価値の視点から検証しました。

地方中核都市でも食文化を活かした魅力向上の重要性が高まるなか、札幌・仙台・広島・福岡での調査から、飲食や買い物、ウォーカビリティといった日常的な活動が都市の魅力度に大きく影響することが明らかとなりました。資源と飲食・滞在機能を動線で結び、回遊と滞在を促す空間形成を街づくりの課題として捉えました。

公共空間での社会実験による街の回遊性・快適性向上の取り組み



池袋のエリアマネジメント団体における社会実験の企画検討・効果検証を実施。回遊性や賑わいがどの程度向上したかを定量的に可視化しました。

街づくり情報の収集・調査・研究・分析・発信

検討地 東京都豊島区
取り組み 2025年

当社グループが参画するエリアマネジメント団体「池袋エリアプラットフォーム」における、公共空間を活用した産官学連携による社会実験「IKEBUKURO25」を企画検討。道路空間やビル前面空地を活用し、ベンチ・植栽・照明・グラフィックの設置により歩行者中心の空間へ再編するとともに、ポラード装飾による沿道景観の向上を図りました。夜間の治安・衛生面に課題のあるエリアにおける健全な景観形成にも取り組み、通過型だった歩行者空間を滞在・交流の場へと転換し、賑わいと居心地を創出。

さらにNTTグループの強みである携帯のGPSデータや現地でのアンケート調査結果を基にした効果検証を行い、結果をエリア内で共有することで、継続的な取り組みの高度化と安全・快適な公共空間の実現につなげています。

働きやすいオフィス環境

アーバンネット札幌リンクタワー



北海道庁と大通公園に挟まれたエリアに位置する複合施設です。基準階面積500坪超のオフィスやフルサービスのライフスタイルホテル「ハイアット セントリック 札幌」、街の賑わいを演出する店舗・アトリウム、スタートアップ支援施設「Hook」を備えています。

オフィス開発・管理 商業施設開発・管理
ホテル開発

所在地 北海道札幌市
竣工 2026年6月

都心部ならではの高い利便性、豊かな緑に囲まれた解放感と落ち着いた環境による希少な立地性を有する複合施設。札幌市内有数の規模を誇るワンフロアは最小約30坪まで分割可能で、多様なニーズに柔軟に対応可能な設えです。さらに、テナント専用ラウンジやワーカースアプリの導入により、働き方の多様化と生産性向上を支援します。

スモールオフィスやイベントラウンジを備えたスタートアップ支援施設「Hook」や、大型ビジョンを備えた2層吹き抜けのアトリウム空間も整備しており、多様な交流が新たなイノベーションを創出します。

アーバンネット仙台中央ビル



仙台市が進める「せんだい都心再構築プロジェクト」の第一号物件として誕生。仙台駅西側エリア最大級で高機能かつフレキシブルな「オフィスフロア」を整備しています。

オフィス開発・管理

所在地 宮城県仙台市
竣工 2023年11月

本ビルは「未来の仙台をつくる共創・賑わいの拠点」をコンセプトに、高機能オフィスや多様なワークプレイス、新たな賑わいや回遊性を促すオープンスペースなどを配置。低層部には共創・イノベーション拠点「YUI NOS」を備え、産官学協働のスタートアップ支援や交流空間を活用した賑わいの創出を推進しています。基準階は約1,800m²の整形空間とし柔軟な分割に対応。またIoTによる混雑の可視化や、環境面ではZEB ReadyやCASBEE Sランク取得、再生可能エネルギーの活用により高い環境性能と快適性も実現しました。店舗の他、生木の緑がある共用部、開放的なラウンジやテラスにより、多様な働き方を支えるABWを可能にし、ワーカーの生産性と満足度を高めます。交流とリフレッシュを促すWell-beingな環境を提供し、仙台市のさらなる活性化と地域課題の解決に寄与します。

大手町ファーストスクエア (NTT 本社オフィス)



“社員のEX(従業員体験価値)高度化”を目的として、ハイブリッドワークにおける『オフィスでの働き方』を具現化したオフィスリニューアルプロジェクトを実施。目的の異なる3つのエリアを設け、従業員参加型のプロジェクト推進で満足度向上を実現しました。

プロジェクトマネジメント オフィスコンサルティング

監修(設計・工事監理)

所在地 東京都千代田区
取り組み 2024年

既存オフィスにおいて、業務を継続しながらリニューアルを実現したプロジェクトです。いつでもどこでも働ける環境の整備を推進。オフィス内には、社内外との共創やコミュニケーションの場となるさまざまな空間を設け、「コラボレーション(受付・会議エリア)」「ミートアップ(部門の垣根を越えた交流エリア)」「プロジェクト&チーム(チームメンバーとの協働エリア)」の目的に応じたエリアを設定しました。什器の効率的な管理を支援するため、什器管理のデジタル化も推進しました。

綿密な移転計画および什器転用計画により、オフィスを利用しながら業務に支障のないリニューアルを実現しました。

LIFORK H/Q (リフォーク エイチキュー)



「クリエイターの未来とコンテンツをともに創造するスペース」をコンセプトに、クリエイターの情熱をかたちにし、一人ひとりのクリエイティブが最大化される場所をめざしています。

シェアスペース開発

所在地 東京都渋谷区
竣工 2026年4月

「原宿クエスト」内にオープンした、クリエイター向けのシェアオフィス・コワーキングスペースなどを備える施設。かつて原宿に存在した「喫茶レオン」にクリエイターが集ったように、人が出会い、つながり、ビジネスが生まれる場をめざし、「LIFORK H/Q」は誕生しました。多様なクリエイターへのヒアリングから、異分野との出会いへの期待と、日常の中での接点創出の難しさが明らかとなったことを背景に、イベントやコンペティションの開催・機材提供などを通じ、ともにクリエイターを支援するパートナー企業との協業や、コミュニティエディター常駐の運営体制を構築しています。

活き活きとした暮らしを支える住まい

ウエリス代官山猿楽町テラス



古くから暮らしの舞台として時を重ね、今は都心に誇る住宅地として知られる猿楽町。都心居住の理想を求める方々に向け、時を超える美しさとゆとりを追求した平均面積100㎡超・全23邸の低層レジデンスです。

分譲住宅開発・管理

所在地 東京都渋谷区
竣工 2024年8月

NTTアーバンソリューションズグループは、ライフスタイルの多様化に対応した住まいの提供により、快適な街づくりに貢献します。NTT都市開発のマンションブランド「ウエリス」には、日本の社会インフラを維持し続けるNTTグループに受け継がれてきた安心・安全への想いと品質管理のノウハウが息づいています。その志を継ぐマンションブランド「ウエリス」には、住む人の生命と財産を守る建物の品質に対する想いが、確かなDNAとして深く刻まれています。

ウエリスブランドの代表物件の一つが代官山の路地の再構築を起点とした集合住宅である「ウエリス代官山猿楽町テラス」。地域に開かれた原風景としての路地沿道のランドスケープデザインを通じた街並みの修景と、その価値を住まいに取り込んだ「街と共生する集合住宅」を実現し、2025年度グッドデザイン賞を受賞しました。

WITH HARAJUKU RESIDENCE (ウィズ原宿レジデンス)



原宿・表参道へと続く玄関口に立地する商業施設・集合住宅を中心とした複合施設の上層階にある「WITH HARAJUKU RESIDENCE」。明治神宮の豊かな緑を眺める専有面積約40㎡～約120㎡・全53邸の賃貸レジデンスです。

賃貸レジデンス開発・管理

所在地 東京都渋谷区
竣工 2020年3月

日常の快適性と安全性を高め、都市生活をよりスマートに進化させること。「都市型賃貸で実現する、一つ上の心地よさ」をコンセプトに賃貸レジデンス事業を展開しています。ワークラウンジなどゆとりある共用空間を備え、顔認証やスマートロックをはじめとした先進のIoT技術を導入により、利便性と快適性を兼ね備えた次世代の暮らしを提供します。

「ウィズ原宿レジデンス」は、コワーキングスペースやレストラン、テラスなどの多彩な共用機能を備えた複合環境を活かし、居住者が思い思いの時間を過ごせる環境を創出。暮らしと街がゆるやかにつながる、新しい都市居住のかたちを提案しています。

ウエリスステージ元麻布



永きにわたり邸宅街として受け継がれてきた元麻布。その地に佇む本物件は、アートギャラリーを思わせる美しい空間を備えています。一邸ごとに唯一無二のアートピースへと昇華させる、クラフツマンシップに満ちたリノベーションを施しました。

リノベーション分譲住宅開発・管理

所在地 東京都港区
共用部改修工事完成 2024年9月
(既存建物竣工:昭和63年)

既存建物のポテンシャルを最大限に活かしながら、ウエリスがこれまでに培ってきたデザイン力とノウハウを活用し、さらなる価値向上をはかるNTT都市開発のリノベーションマンション。建物を大切にしながら再生することにより、環境負荷を抑制し、街にも環境保護にも配慮した持続可能な理想の住まいの実現が可能になると考えています。

「ウエリスステージ元麻布」は、都心にありながら閑静で落ち着いた、唯一無二の立地に誕生する一棟リノベーションプロジェクトです。竣工から38年を経た既存建物に、未来を見据えた快適性・耐久性・意匠性を獲得させるべく、快適な温熱環境をもつ住まいの構築とメンテナビリティの獲得、および高効率設備の導入を行い、SDGsへの貢献をめざしました。

ウエリス高崎問屋町



居住者同士の繋がりを育むため、毎年クリスマスツリーの飾り付け会を開催。季節の催しを通じて、住民同士が触れあい、あたたかなコミュニティが生まれています。

分譲住宅開発・管理

所在地 群馬県高崎市
竣工 2023年11月

マンションでの快適な暮らしは、建物や設備の維持管理に加え、居住者同士が安心してつながる環境によって深まると、NTTアーバンバリューサポートは考えていますが、実際には、日常生活の中で交流の機会は限られています。そこで当マンションでは、交流のきっかけを創出する取り組みとして、クリスマスツリーの飾り付け会を開催しています。その結果、子どもたちを中心に自然な会話や交流が生まれ、居住者同士の関係性が深まっています。さらに、自ら飾り付けたツリーへの愛着がマンションへの親しみを高め、住まい全体への満足度向上にも寄与しています。こうした取り組みを他物件にも展開し、居住者同士のつながりと安心感の醸成に貢献しています。

お客さまの資産価値向上

近畿大学東大阪キャンパス



20年余りにわたり段階的に携わってきたキャンパス整備プロジェクト。耐震化率100%に取り組むなか、単なる建て替えではなく、新たな教育環境の整備や文理の垣根を越え社会の諸課題を解決に導くための学術拠点の創出を付加価値として実現しました。

設計・監理

所在地 大阪府東大阪市
竣工 1～5号館「ACADEMIC THEATER」
2017年1月
6・7号館「ACADEMIC THEATER ANNEX THE GARAGE」
2019年8月

本大学キャンパスは2万人以上の学生と教職員が行き交う超高密度キャンパスです。建築が所狭しと立ち上がりその隙間を縫うように、ヒューマンスケールの路地的空間や建物のクランクと重なりから生まれた小さなポケットパークなど、至る所で学生の賑わいが幾層にも連複する特徴を有しています。

このキャンパスの特徴である都市的界限性と偶発性を、建築空間に取り込むことで、学術環境が社会化され、利用者の創造性と感性が異なる価値観や分野と関係を結び、新たなプラットフォームを整備しました。建物の新旧に関係なく、さまざまな実践的取り組みが実施され、新たな学びの環境へと常にアップデートされています。

信頼がつなぐ、価値創造のパートナーシップ



アーバンネット五橋ビル

アソルティ大宮ル・ノード

(株)ホクエツ様(本社:宮城県仙台市ノコンクリート二次製品の製造販売)の本社ビル取得を契機に、プロパティマネジメント業務などを受託。物件取得から運営・管理までを一体的に支援し、投資判断や修繕計画の検討にお役立ていただいています。

オフィス管理

オーナーサポート

アドバイザー

売買仲介

本社ビル取得から入居、その後の運営や修繕、投資判断の各場面において、建物や市況に関する情報をふまえた丁寧な検討とサポートを重ねています。修繕項目の優先度整理や設備投資の計画化は、お客さまの判断を支える情報として活用いただいています。また、運営面では、オーナーさまへの賃料水準見直しの提案を行うことで、収益の最適化にも寄与しています。こうした取り組みを通じて、保有資産の拡大と安定的な運用が進められています。

オフサイトPPAによる追加性のある再生可能エネルギー導入



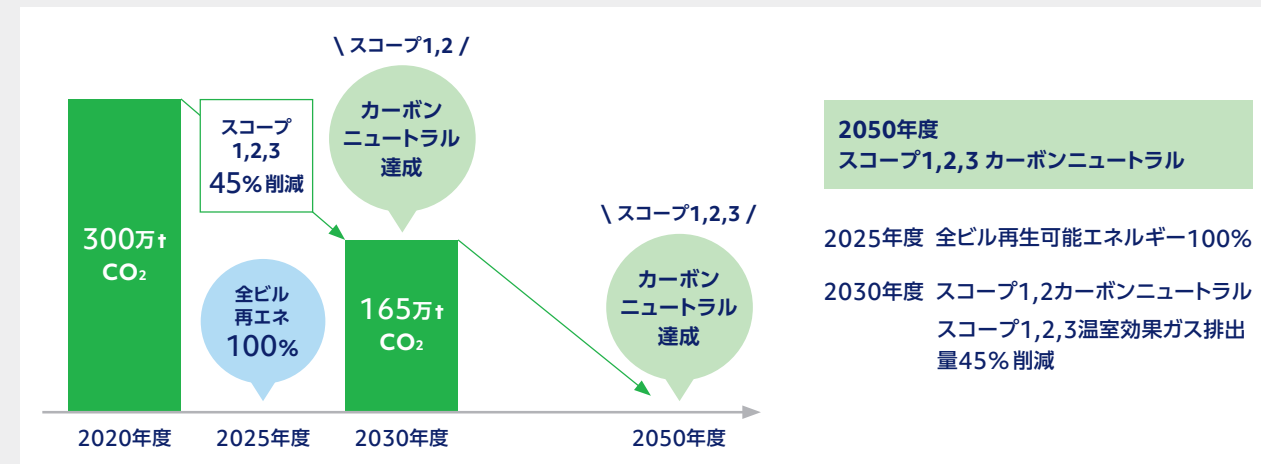
環境負荷低減目標の実現に向け、保有するオフィスビルおよび複合商業施設において再生可能エネルギー由来の電力を導入しています。

2025年4月よりオフサイト型コーポレートPPA(オフサイトPPA)による追加性のある再生可能エネルギー由来の電力を導入。現時点で「品川シーズンテラス」「ウィズ原宿」「アーバンネット名古屋ビル」「アーバンネット名古屋ネクスタビル」計4ビルへの導入が完了しています。4ビル合わせて発電容量は約9MWで、年間約10GWhが追加性のある再生可能エネルギー由来の電力となり、年間約3,800トンの温室効果ガス排出量の削減効果が期待されます。

また、ビルの使用電力は、入居テナントさまの使用電力も含めて100%が実質再生可能エネルギー電力となり、入居テナントさまのサステナブル経営に寄与します。

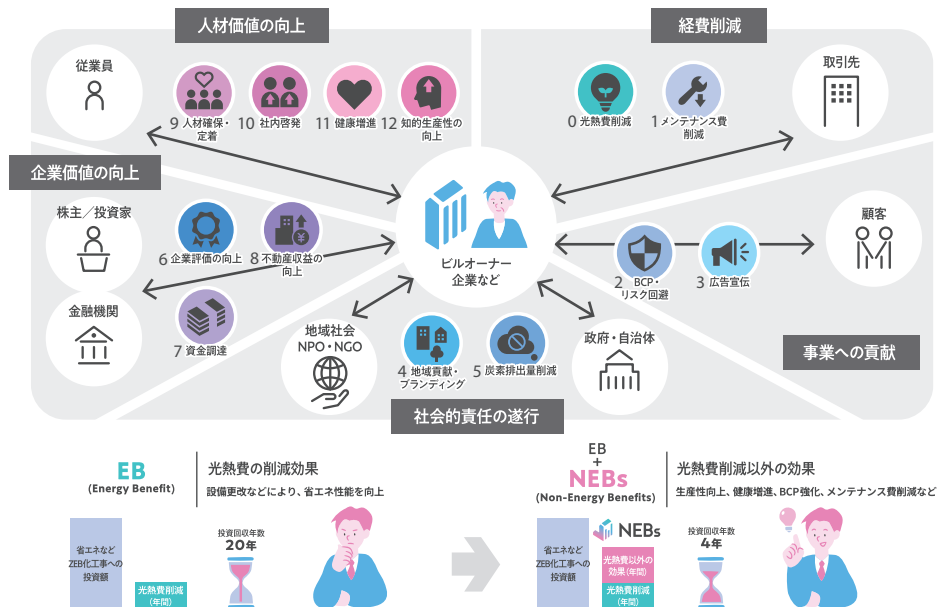
環境負荷低減目標

NTTアーバンソリューションズグループは、「2050年度スコップ1,2,3^{*1}カーボンニュートラル」を目標としています。目標達成に向けて、2025年度に「全ビルの使用電力を100%^{*2}再生可能エネルギー由来の電力」とし、2030年度に「スコップ1,2でカーボンニュートラル、スコップ1,2,3で45%削減(2020年度比)」を実現します。



※ 1 スcope1: 当社グループでの燃料の使用などによる温室効果ガス直接排出量
 スcope2: 当社グループが購入した電気・熱の使用による温室効果ガス間接排出量
 スcope3: その他事業活動にともなう温室効果ガス間接排出量(建物の建築工事や販売した不動産・物品の使用など)
 ※ 2 共同所有、海外含む当社所有のビルの使用電力のうちテナント含む自持分相当とし入居者が電力契約を締結するものを除く

NEBs評価による省エネ建築物の導入促進



2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物の省エネ化が求められる一方、その効果は主にCO₂削減やエネルギー削減量で評価されており、投資判断が進みにくい課題がありました。こうしたなか、NTTファシリティーズとデロイトトーマツは、省エネ建築物の新築・改修による効果を総合的に定量評価する指標として「Non-Energy Benefits(NEBs[ネブズ])」を開発。

本指標により、投資対効果の可視化が可能となります。さらに、算定機能を備えたポータルサイトの公開により活用の裾野を広げ、企業や自治体における省エネ化と脱炭素化の推進に貢献しています。

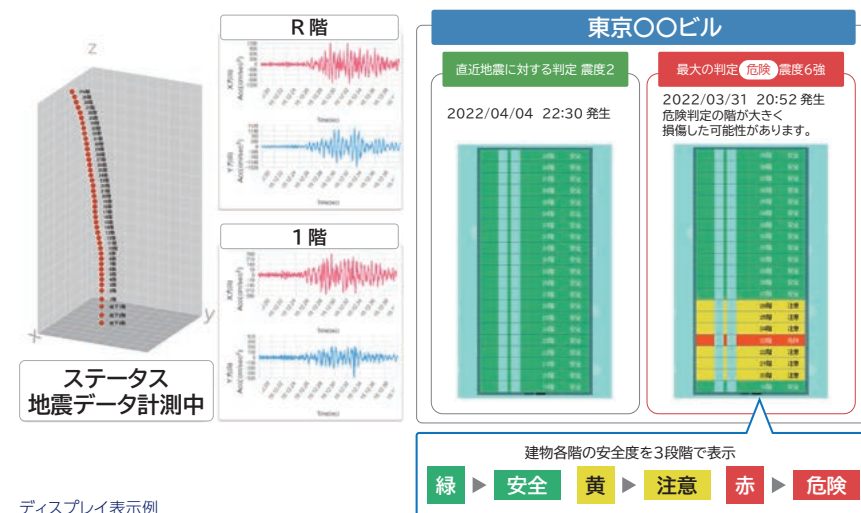
次世代型データセンター構想



データセンターの高発熱化への対応やカーボンニュートラルへの貢献、東京・大阪への立地の二極集中を解決し、地域循環型社会の実現へ貢献するため、次世代型データセンター構想を進めています。

近年、生成AIの普及やICTサービスの高度化により、データセンターの建設需要は拡大している一方で、データセンターのカーボンニュートラルが求められ、また、国内のデータセンターは東京・大阪近郊への集中、用地確保の困難さや電力供給インフラ不足の深刻化など、さまざまな課題を抱えています。そのような課題に対応するため、データセンターのカーボンニュートラルへ貢献する、「全面的に液冷方式サーバーを採用した次世代型データセンター」や「地方共生型高効率データセンター」を構想しました。

これらの構想の実現を通じて、ICTサービスを支えながら、地域循環型社会の実現や、サステナブルな未来づくりに挑戦し、貢献していきます。

建物安全度判定サポートサービス「揺れモニ[®]」

揺れモニ[®]は、地震時の建物安全度を迅速に把握し、対応判断を支援するサービスです。モデル推定ではなく実測データに基づく評価のため信頼性が高く、地震直後に各階の安全度を把握できるため、建物の使用可否や避難誘導などの初動対応を速やかに行うことができます。また、損傷の可能性があるフロアを特定できるため、調査箇所の絞り込みや復旧計画の効率化が可能となり、復旧時間の短縮とコスト低減に寄与します。さらに、地震時の実測データを蓄積・活用することで、建物の損傷度を定量的に評価でき、長期的な使用継続や建て替え判断にも役立ちます。

福山市本庁舎



BCP対策への課題をもつ既存本庁舎を、DBO(Design Build Operate)方式により一元的に整備。全てを執務並行型の「居ながら整備」にて実現し、自然災害に対応した事業継続の確保のほか、温室効果ガス排出量の削減、オフィス環境の改善などに貢献しました。

設計	設備更改	オフィス整備
所在地	広島県福山市	
竣工	2023年12月	

BCP対策として、地下にあった主要設備を浸水想定水位より上階の既存スペース(2階以上)および今回増築した設備棟へ構築し、災害による停電や断水時においても公共サービスの継続を可能としました。また、電気使用量・温湿度環境などのモニタリングが可能な設備構築による、“フロアごとにきめ細かな見える化”や、個室をなくし、コミュニケーションを誘発しやすいオフィスレイアウトのスタンダード化により、オフィスの環境改善を行い、運用面を含め省エネや働き方改革の推進へ貢献しています。

データセンター構築トータルソリューション



国内大規模データセンターの70%以上*にサービスを提供するデータセンターエンジニアリングソリューションの第一人者としての豊富なノウハウを活かし、ワンストップで企画・設計から施工・保守管理まで、お客さまのあらゆる課題に対し多角的かつ総合的なソリューションを提供します。

* 2024年から2026年に竣工(予定含む)のデータセンターへの関与比率
(件数ベース、NTTファシリティーズ調べ)

デジタルトランスフォーメーションの進展でトレンドと環境が変化するなか、データセンターで生じる問題は多様化しています。NTTグループの通信設備で培った豊富な実績とノウハウをベースに、データセンターエンジニアリングで国内トップシェアの実績を保有しています。

大阪府の大阪第7データセンターでは、事業主がめざす低コスト・短工期の郊外型データセンターというコンセプトに基づき、低層のモジュール型データセンターを提案しました。ITロードに応じたモジュールを増設する方式により、容易な段階構築を可能とし投資リスクを最小化。構造躯体のスリム化・設備システムのシンプル化を突き詰めた計画としています。

洋上浮体型データセンター実現に向けて



洋上浮体型データセンターの将来像

100%再生可能エネルギーで稼働する洋上浮体型データセンターの実現を通じて、環境負荷の低減と持続可能なデジタル基盤の構築を両立する社会インフラの創出に取り組んでいます。新たなデータセンターのあり方を示し、持続可能な社会の実現に貢献します。

洋上浮体型データセンターは、クラウドサービス普及や生成AIの登場で需要が高まるデータセンターのさまざまな課題(電力消費の増大と脱炭素化の両立、データセンター建設期間の長期化、建設費の高騰、耐災害性の確保など)の解決を目的として構想されました。2026年3月より実証実験を開始し、世界で初めて、洋上の浮体上に設置したデータセンターを再エネのみで運用することが可能となっています。

将来的には、洋上風力発電所近傍に立地することで再エネを最大限活用するデータセンターの実現をめざします。本取り組みは、2026年2月に日本オープンイノベーション大賞総務大臣賞を受賞しました。

サステナビリティ

サステナビリティ方針

NTTアーバンソリューションズグループは、NTTグループのサステナビリティ憲章に基づき、当社グループの事業特性をふまえて「3つのテーマ」と「10のチャレンジ」を定め、サステナビリティ活動を推進しています。

NTTアーバンソリューションズグループのサステナビリティ推進



主な目標と進捗管理 (KPI)

テーマ	指標	2024年度		2025年度 目標*1
		目標*1	実績*1	
自然との共生	温室効果ガス排出量(スコープ1,2)*2	0.263万t-CO ₂ 以下	0.258万t-CO ₂	0.257万t-CO ₂ 以下
Well-beingの最大化	女性の新任管理者登用率*2	19%	16.9%	19%
	従業員エンゲージメント率*2	51%以上	60%	60%以上

※1 NTTアーバンソリューションズグループ連結 ※2 役員報酬の連動指標

持続可能な社会の実現に向けた取り組みをまとめた報告書を発行しています。
サステナビリティレポートはこちら。



生物多様性方針

NTTアーバンソリューションズグループは環境負荷低減の取り組みスローガンとして「Green Future withUS」を掲げ、「人と自然が寄り添う未来」の実現のため、生物多様性の保全と回復を重要な経営課題と認識しています。2025年10月には「NTTアーバンソリューションズグループ 生物多様性方針」を策定しました。

当社グループの事業活動にともなう土地利用や資源利用により、生物多様性の毀損に繋がる可能性を把握し、それらの影響を回避、低減、回復していくために取り組んでまいります。

生物多様性に関する取り組み

- 生態系の把握と保全・育成

● 都市緑化と地域の植生に合った育み

● 生態系保全と回復

● 生物多様性に関するコミュニケーション

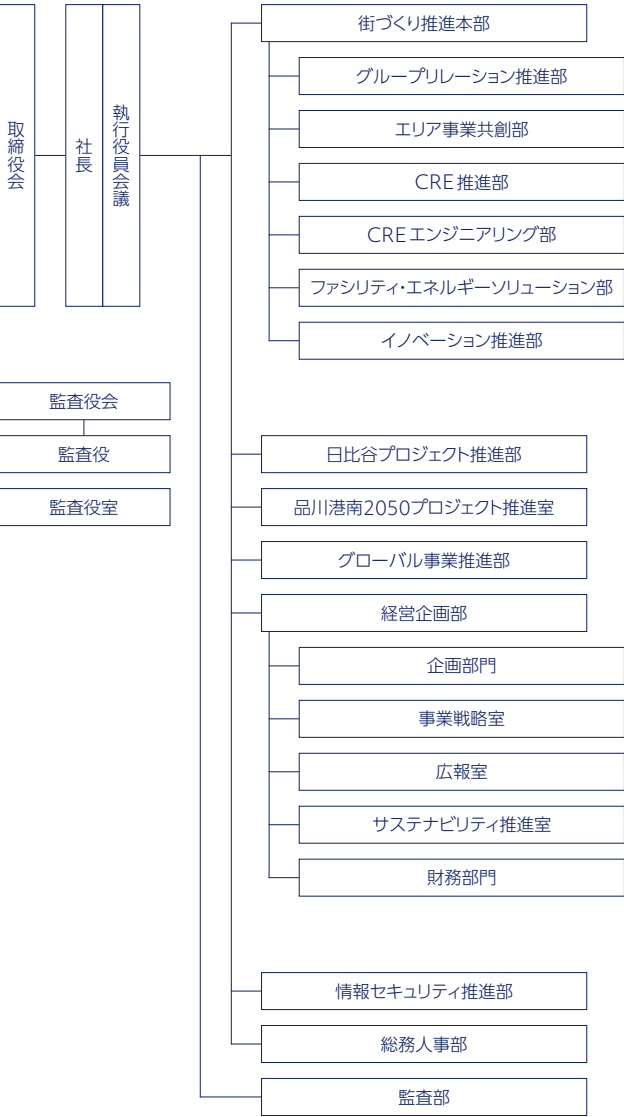
会社概要

会社名	NTTアーバンソリューションズ株式会社	事業内容	街づくりに関する企画、提案および推進 NTTグループや事業パートナーとの連携 街づくりの展開に向けた地域とのコミュニケーション グループ内の推進体制の整備および強化
所在地	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX		
設立	2019年7月1日	社員数	[単独] 約310名
資本金	1,084億円	(2026年3月時点)	[連結] 約7,210名
売上高	5,050億円 (2025年度)		

役員

代表取締役社長	池田 康
社長執行役員	
代表取締役副社長	川口 晋
副社長執行役員	
取締役副社長	関根 万紀子
副社長執行役員	
CCO(Chief Compliance Officer)	
日比谷プロジェクト推進部長	
グローバル事業推進担当	
常務取締役	上野 晋一郎
常務執行役員	
CDAIO(Chief Digital and AI Officer)	
街づくり推進本部長	
品川港南2050プロジェクト推進室長	
常務取締役	長谷部 周彦
常務執行役員	
経営企画部長	
取締役	谷川 史郎 米沢 忠大 魚部 浩之 楠本 広雄 窪田 修 玄番 進吾 粟野 慎介
監査役	
執行役員	茂野 伸夫
街づくり推進本部	
CREエンジニアリング部長	
執行役員	吉原 俊博
CISO(Chief Information Security Officer)	
情報セキュリティ推進部長	
執行役員	山田 洋平
総務人事部長	
執行役員	本岡 靖隆
街づくり推進本部	
CRE推進部長	
執行役員	仁藤 貴之
街づくり推進本部	
グループリレーション推進部長	
品川港南2050プロジェクト推進室 次長(統括担当)	
執行役員	吉川 勲
街づくり推進本部	
エリア事業共創部長	

組織図



〔撮影〕	*1 フォトビューロー 庄野新	*5 InPlace	*8 エスエス大阪支店
	*2 フォワードストローク	*6 Kenta Hasegawa	*9 中道淳／ナカサンドパートナーズ
	*3 エスエス東北	*7 広島大学との共同研究「広島都心部の文化・魅力をはかる」	P 完成予想パース
	*4 HIBIYA CROSSPARK 開発プロジェクト		

※ 開発中物件の完成予想パース等は今後の協議等により変更となる可能性があります
本冊子から許可なく転記、複写することを固く禁じます
本冊子の掲載内容は一部を除き2026年7月のものです

最新情報は公式ホームページをご覧ください
<https://www.ntt-us.com>



あなたと、まちと、みらいをつなぐ。



NTTアーバンソリューションズ

NTTアーバンソリューションズ総合研究所

NTT都市開発

NTTファシリティーズ

NTTアーバンバリューサポート

